

自主防犯組織の手引き

～【犯罪のない 明るく住みよい街 武蔵村山】

の実現を目指して～



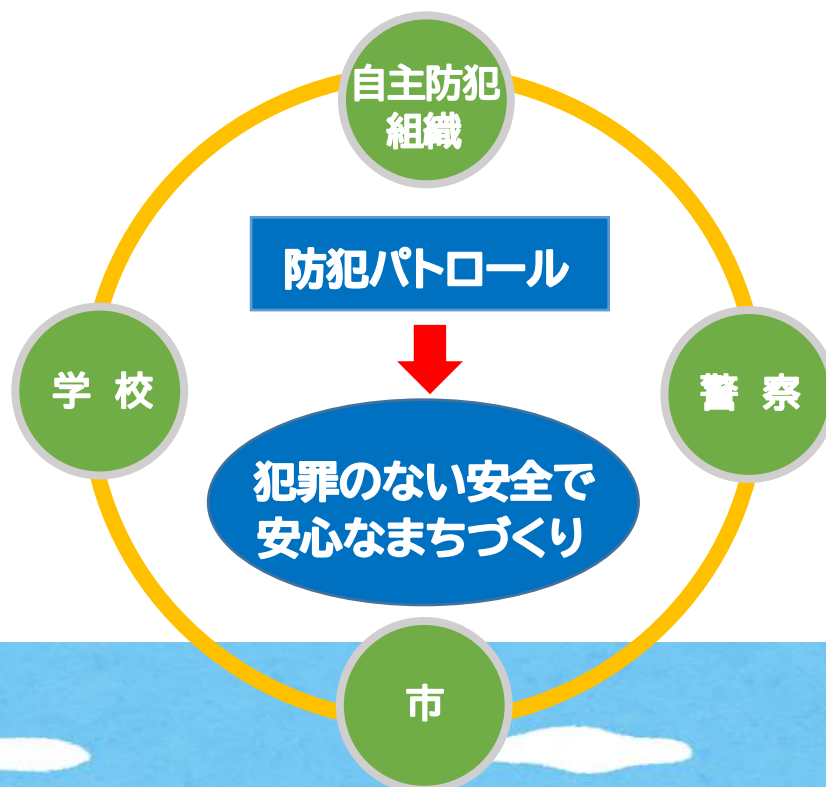
武蔵村山市

はじめに

～「安全で安心して暮らせる街 武蔵村山」の実現に向けて～

本市では、自主防犯活動の支援を通じて、市民と一体となって地域の防犯力を高め、犯罪の機会を与えない、犯罪をつくりださない環境を整備し、市民が安全で安心して暮らせる街の実現を目指しています。

このマニュアルは、自主防犯組織の結成方法や活動方法を明記することで、さらなる地域安全運動の推進に役立てていただくために作成したものです。



目次

● 自主防犯組織とは	1
● 自主防犯組織の目的	2
● 自主防犯組織の始め方	2
● パトロールの活動物品	3
● 活動資器材補助制度	4
● パトロールの注意事項	5
● パトロールの具体的方法	6
● パトロールの着眼点	7
● パトロールの Q&A	8
● 参考資料	9

自主防犯組織とは、自分たちの力で犯罪の発生に歯止めをかけるために、地域の住民、自治会、商店街等が連帯して、防犯パトロール等を行い、犯罪の発生を未然に防ぐ活動をいいます。

自主防犯組織が行う防犯活動は、防犯パトロール活動が主な任務となります。地域の中で防犯意識を持った方々が連帯してパトロール活動をすることにより、犯罪の発生を未然に防止できるのです。

「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、一人でも多くの方に参加していただくこと、また、継続的に実施していただくことが大切です。

2 自主防犯組織の目的

●犯罪、事故等の未然防止

パトロールにより、犯罪や交通事故を未然に防止できます。

●地域の犯罪抑止機能の向上

犯罪者を遠ざけることができます。

●地域住民の防犯意識の高揚

住民同士が、防犯に関する共通認識を持つことができます。

●地域の連帯感の醸成

住民や子どもへの声かけによりコミュニケーションが図れます。

3 自主防犯組織の始め方

●メンバーを募る

自治会、PTA、老人クラブなど、地域に居住する人や防犯に関心がある人で、パトロールに参加できる人を募集しましょう。なお、ご友人同士でも結成可能です。

●団体名やリーダー（代表者）を決める

人数が集まったら、パトロールを効果的に行うため、団体名やリーダー（代表者）を決めましょう。

●パトロールの方法を決める

どのような方法（時間帯や区域など）でパトロールを行うか決めましょう。

●警視庁の情報を参考にする

警視庁が管理する防犯アプリ「Digi Police」や警察署（交番、駐在所）が発信する犯罪の発生状況や危険な場所などの情報を参考にしましょう。

●パトロールの開始を知らせる

別紙の第1号様式（自主防犯組織結成・変更届出書）を記入し、市役所危機管理課へ提出してください。

4 パトロールの活動物品

●ジャンパー、ベスト、帽子、腕章



防犯パトロールしていることが、誰が見ても分かるように、「防犯パトロール」などと記載されたベストや帽子を着用しましょう。

目立つものを着用することで、効果的に事故防止にも役立ちます。

●反射材、懐中電灯

夜間パトロールの際は、危険回避と交通事故防止のため、反射材の使用や目立つ服装を心がけ、懐中電灯を携行してください。

特に夕暮れ時は、運転者から歩行者が見えにくい状態で大変危険です。できる限り、反射テープや夜行チョッキ等の反射材を活用しましょう。



●メモ帳、日誌

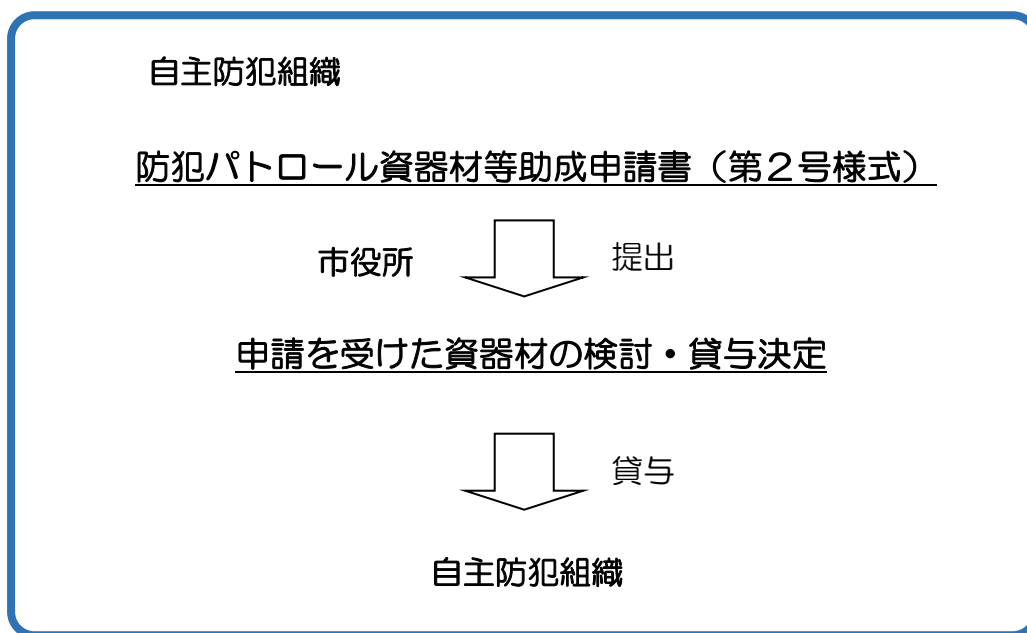
パトロールを通じて気づいた危険な場所や不審な人や車の特徴などをメモしてください。



5 活動資器材補助制度

自主防犯組織の活動を円滑に進められるよう、市役所から資器材の貸与を行っています。別紙第2号様式（防犯パトロール資器材等助成申請書）を記入し、市役所危機管理課まで提出してください。

資器材助成までの流れ



主な貸与品

- ・ 防犯腕章
- ・ 強力ライト
- ・ 防犯ホイッスル
- ・ 保安指示灯
- ・ 防犯ベスト
- ・ ジャンパー
- ・ 帽子



※写真は一例です。

6 パトロールの注意事項

●危険なことはせずに早めに通報を

パトロール中に不審者や不審車両を発見したら、追跡など危険なことはせずに警察に通報してください。

事件や事故を目撃したら、直ちに110通報をしてください。

110番のかけ方

携帯電話、一般電話、公衆電話のいずれからでも、「110」とダイヤルすれば、110番通報を受理する警視庁通信指令室につながります。

通報を受けた警察官が次のような点について順を追って聞きますので、落ち着いて答えてください。

◇何があったのか

◇いつ

◇どこで（目標物などがあれば教えてください）

◇犯人・不審者は（性別・人相・服装・車両）

◇被害状況（けが人など）

◇通報者であるあなたの名前、電話番号など

●プライバシーを尊重し、秘密を守る

パトロール中に知り得た他人のプライバシーは守りましょう。

●気軽に市役所、警察に相談を

パトロールの注意点や危険な場所など、わからないことがあれば、市役所危機管理課又は警察署（交番、駐在所）に相談してください。



7 パトロールの具体的方法

●できる範囲で

無理はせず、できる範囲（時間帯、場所）でパトロールしましょう。

●複数で

パトロールは、必ず複数で行いましょう。

多くの目で見ることにより、より多くの危険箇所などが発見できます。

また、お互いの事故防止、危険防止にもつながります。

●徒歩で！

犯罪被害に遭う方の多くは、歩行者や自転車です。

同じ視点でパトロールすることにより、犯罪に遭いそうな場所や危険な場所を知ることができます。

●声かけを！

地域の住民が声をかけあうことにより、地域の連帯感が強まります。

犯罪者は声をかけられることを嫌います。

パトロールの声かけ例

夕方遅く、子どもだけで遊んでいたら



早く家に帰ろうね



困っている人がいたら



どうしましたか



危険なことをしている人がいたら



あぶないですよ



8 パトロールの着眼点

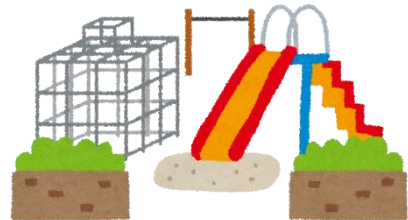
次のような場所は、事件・事故が起こりやすい場所です。防犯パトロールをし、犯罪に強いまちづくりを目指しましょう。

●通学路

通学路のパトロールを行い、不審者や不審車両がないか確認してください。

●公園などの遊び場

子どもが安心して遊べるよう、公園などの遊び場を警戒することが必要です。遅い時間になっても子どもが遊んでいたら、帰宅するよう声をかけてください。



●防犯灯の設置場所

暗い道は、犯罪が発生するおそれがあります。

球切れなどをそのまま放置していると、犯罪を誘発する危険性が高くなります。

●たまり場になっている場所

公園や店先など不良少年のたまり場となっているところがあると、そこから非行が広がっていきます。

パトロールの姿を見せるだけでも効果があります。



●空き家や留守宅

空き家は犯罪の場所として利用されやすい場所です。新聞受けに数日分の新聞がたまっているなど、一目で留守がわかる住宅などは、犯罪者に狙われます。

9 パトロールのQ & A

Q1 あいさつや声かけなどを行うことで効果があるのですか？

犯罪を行うものは声をかけられ顔を見られることにより出鼻をくじかれたり、犯罪を思いとどまったりするので、犯罪の抑止には大変効果があります。また、声かけ運動が定着することにより、広く地域全体が顔見知りになることから、地域の連帯感も強化されます。

Q2 少年達が集まっていたらどうしたらよいですか？

地域の少年達が集まって座っているだけならば、あいさつをするなど気軽に声をかけてください。喫煙や飲酒などの不良行為をしている場合でも、単に注意するのではなく、まず、声をかけて状況をみながら、穏やかな態度で接しましょう。ただし、けんかや注意しても不良行為を止めない場合などは、警察に連絡してください。

Q3 危険ではないですか？

危険なことをしないように心がければ問題はありません。不審者や不審車両を発見した際は、声をかけたり、近寄ったりせずに警察に通報してください。事件・事故を目撃した際にも、直ちに110番通報をしてください。また、夕方から夜間は交通事故の危険がありますので、夜光反射材を身に付けるなど、十分注意しましょう。

自主防犯組織（結成・変更）届出書

(第1号様式)

第1号様式(第3条関係)

年 月 日

武蔵村山市長 殿

自主防犯組織名

住所

代表者

氏 名

自主防犯組織(結成・変更)届出書

このことについて、下記のとおり届け出ます。

記

- | | | | | |
|---|-----------------|-------|---|---|
| 1 | 自主防犯組織の名称 | | | |
| 2 | 母体となる地域団体の名称 | | | |
| 3 | 自主防犯組織の結成・変更年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 4 | 自主防犯組織の構成員の数 | | | 人 |
| 5 | 自主防犯組織構成員名簿 | 次のとおり | | |

[illegible]

(日本産業規格A列4番)

防犯パトロール資器材等助成申請書

(第2号様式)

第2号様式(第5条関係)

年 月 日

武蔵村山市長 殿

自主防犯組織名

住 所

代表者

氏 名

防犯パトロール資器材等助成申請書

下記の防犯パトロール資器材等の助成を申請します。

記

防犯パトロール資器材等

品 名	必要数量	備 考

(日本産業規格A列4番)

防犯パトロール資器材等助成（決定・却下）通知書 （第3号様式）

第3号様式(第6条関係)

記 号 番 号
年 月 日

自主防犯組織名
代表者氏名

武蔵村山市長



防犯パトロール資器材等助成(決定・却下)通知書

年 月 日付で申請のあった防犯パトロール資器材等の助成については、下記のとおり(決定・却下)したので通知します。

記

☐ 助成します。
助成する防犯パトロール資器材等

品 名	数 量	品 名	数 量

☐ 却下します。
1 却下した防犯パトロール資器材等

品 名	数 量	品 名	数 量

2 却下した理由

(日本産業規格A列4番)

防犯パトロール資器材等受領書

(第4号様式)

第4号様式(第7条関係)

防犯パトロール資器材等受領書

品 名	数 量	品 名	数 量

上記の防犯パトロール資器材等を受領いたしました。

年 月 日

自主防犯組織名

住 所
代表者 氏 名

武蔵村山市長 殿

(日本産業規格A列4番)

(第5号様式)

年 月 日

パトロール予定月日	パトロール概要	参加予定人員

氏 名

(日本産業規格A列4番)

防犯パトロール実績報告書

(第6号様式)

第6号様式(第8条関係)

年 月 日

防犯パトロール実績報告書

パトロール月日	パトロール概要	参加人員

自主防犯組織名

住 所

代表者

氏 名

武蔵村山市長 殿

(日本産業規格A列4番)



発行 令和8年7月

武蔵村山市危機管理課交通防犯係

TEL 042-565-1111 内線 332